2019 年度　　授業概要

科目名	人間発達学							授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期		1年	前期	

【授業の目的・ねらい】
人間の生涯に渡る発達を理解し評価・治療の基礎を学ぶ。

【実務者経験】

【授業全体の内容の概要】
人間の生涯に渡る身体的発達、認知的発達、情緒的・社会的発達、運動発達について学び、各発達との関連性を認識する。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
発達理論による生涯発達の把握。運動発達は発達段階と特徴を原始反射・姿勢反射と関係つけて覚える。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	発達と発達理論	
2	出生前発達と出生	
3	運動発達（０～6ヶ月）、原始反射	
4	運動発達（7ヶ月～12ヶ月）、姿勢反射	
5	運動発達（12ヶ月～）	
6	認知的・情緒的・社会的発達①	
7	認知的・情緒的・社会的発達②	
8	乳幼児期の発達評価とまとめ	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
生涯人間発達学（上田礼子）三輪書店

【準備学習・時間外学習】
小児科学や発達障害治療学とも関連が高いので、しっかり復習しておくこと。また、この科目での国家試験範囲としては毎年度1問程度であるが、発達過程については評価学での問題として出題されることから、習熟しておくことを望む。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
小テストを10点、課題の評価を20点、定期試験を70点として合計100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。